

ちびっこ教室特別版

代表者 前田 絵美 (教育学部学校教育教員養成課程4年)

1. 目的と概要

このプロジェクトは、障害のある児童・生徒を大学に招待し、大学で開催されている未来からの留学生など、様々な楽しい活動に参加してもらい交流を深め、大学について知ってもらうものです。

2. 実施期間（実施日）

平成22年6月1日 から 平成23年3月31日まで

3. 成果の内容及びその分析・評価等

このプロジェクトでは障害をもつ子どもたちを大学に招待することを目的とし、今回は、県立盲学校が香川大学の近くにあるということもあり、視覚に障害をもつ生徒さんとの交流を行うことにしました。主に交流を行ったのは高等部に在籍する全盲の生徒さんです。

大学で開催された行事では、未来からの留学生に参加してもらいました。今回は、理科領域の方々にも協力していただきました。実験の様子など、見えないことで楽しめないのでは面白くありません。そのため、生徒さんが触っても分かる、かつ面白い実験を考えていただきました。そのおかげで、理科領域のブースすべての実験やアトラクションを楽しむことができました。他のブースでは、事前に準備を行えてはいなかったものの、みなさん好意的で、盲学校の生徒さんも楽しめるような工夫をしてくださいました。「実験では触って楽しめましたし、バルーンアートもできてよかったです。」との感想をいただきました。誰にでも楽しめる実験をという要望に応えていただいた理科領域の皆さんには本当に感謝しています。こういった実験の検討は、今後の未来からの留学生でも活用できるのではないかと感じています。また、今回盲学校の生徒さんの対応をしてくださった皆さんも、全



図1 触って分かる実験を体験



図2 触って分かる分子

盲の方に対する説明の仕方など、良い経験になったのではないのでしょうか。

今回の交流では、大学の行事に参加していただくだけでなく、私たち大学生も盲学校で行われている様々な行事に参加させていただきました。盲学校の体育祭や文化祭では、一般的に私たちが体験してきたものとは異なり、新鮮さを感じると共にその技術の素晴らしさを知ることができました。また、体育祭や文化祭、授業参観などは地域の方でも参加できていたようでしたが、私たちは普段は見ることのできない、盲学校で行われている部活動の様子も見せていただき、また体験もさせていただきました。主に交流をしていた生徒さんの所属する卓球部での活動でした。一般的に知られている卓球とは異なり、ネットの下を通すという独特のルールなどに戸惑いましたが、これまでに経験のない新しいスポーツとして楽しむことができました。

お互いの学校での様子を知っていただくだけでなく、遊びに関しても交流を行いたいと考え、今回のプロジェクトで点字付きトランプなどのカードゲームを購入させていただきました。トランプでは点字による表記でマークと数字が書かれており、それがあつてで大学生と一緒にゲームを楽しむことができました。ババ抜きは一般的なものと変わりなく行うことができました。神経衰弱というゲームでは、一度めくったカードを覚えておくことが必要になります。そのためバラバラに並べておくのではなく、ある程整列した状態で並べます。そして生徒さんがめくったもの以外のものについては、その都度めくったカードの場所と数字を確認しながら進めていきました。見えないことでできないことは多くあると思います。しかし、できる工夫をすることで



図4 神経衰弱を行う様子

盲の方に対する説明の仕方など、良い経験になったのではないのでしょうか。

今回の交流では、大学の行事に参加していただくだけでなく、私たち大学生も盲学校で行われている様々な行事に参加させていただきました。盲学校の体育祭や文化祭では、一般的に私たちが体験してきたものとは異なり、新鮮さを感じると共にその技術の素晴らしさを知ることができました。また、体育祭や文化祭、

授業参観などは地域の方でも参加できていたようでした。

私たちは普段は見ることのできない、盲学校で行われている部活動の様子も見せていただき、また体験もさせていただきました。主に交流をしていた生徒さんの所属する卓球部での活動でした。一般的に知られている卓球とは異なり、ネットの下を通すという独特のルールなどに戸惑いましたが、これまでに経験のない新しいスポーツとして楽しむことができました。



図3 盲学校での部活動体験（卓球）

こんなんにも多くのことができるということを感じました。一緒にゲームをする際にも、初めはどうすればいいか分からなかった状況の学生たちも、次第にこうすればいいのではないか、またこういった声かけが良いのではないかと、交流の中で盲学校の生徒さんとの関わり方を学んでいくことができたと思います。

4. この事業が本学や地域社会等に与えた影響

このプロジェクトを実施したことにより、近隣校である香川県立盲学校との盛んな交流を行うことができたと考えます。盲学校では、これまで授業参観などで開放していることはありましたが、一部の学生が参加するのみであり、共に何かを行うといった交流はほとんどありませんでした。また、香川大学も特別支援教育を専門とする研究室はありながらも、附属特別支援学校との交流が主であり、近隣校である盲学校との交流を盛んには行っていませんでした。そのため近隣校でありながらも、その内部での様子については分からないことが多くありました。

今回の交流を通して、双方の学校を行き来することができ、盲学校では授業以外にも部活動の様子、体育祭・文化祭等様々な行事に参加できました。また大学では、未来からの留学生などに参加してもらいました。お互いの学校が日頃のそれぞれの生活や考え方などについて理解を深めることができたと感じます。今回は特定の生徒の方だけでしたが、大学の講義にも参加していただくことができました。盲学校にとっては今後、生徒さんの進学を考える上でとても貴重な情報源となったことと思います。また、香川大学がこのように盲学校に対して貢献ができたことも今回のプロジェクトが地域に与えた影響だと考えます。

5. 自分たちの学生生活に与えた影響や効果等

私たちの所属する特別支援教育コースで主に交流を行っているのは知的な障害をもつ子どもたちです。附属支援学校に在籍する子どもたちも知的障害のある児童・生徒ばかりで、視覚に障害をもつ方との交流はほとんどありませんでした。そのため、これまで学校自体は近隣にあるものの、どう接していいのか、またどういった環境の中で生活を行っているのかも分かりませんでした。しかし、今回の交流を行ったことで、私たち大学生は盲学校の存在を身近に感じるできるようになりました。これまで接し方が分からなかったというのも、交流がなかったために彼らの生活の様子を知らないというだけでした。実際にも、こうしなければならぬといった決まりがあるのではなく、私たち学生が友人との関係を徐々に築きあげていくように、盲学校の生徒さんとの接し方も、交流の回を重ねていくことで次第に気付くことの方が多くあることが分かりました。こちらが「できないのでは」と思っていたことも、簡単にこなしてくれる様子を目の当たりにし、全盲だからと気負って接するのではなく、普通に接していくことが大切なことだということにも気付かせてもらいました。また、会話を楽しむ中で弱視から全盲になったことによる心の変化や葛藤も知ることができ、大学生同士だけで生活している時には考えることのなかったことについても話をすることができました。私たちはとても良い経験を積むことができたと感じています。交流に参加した学生の多くは今後教員として社会人の道を歩んでいきますが、全盲の方との交流はそう頻繁にあることではありません。ここでの交流は全盲の方との接し方などだけでなく、視覚障害をもつ方々に対する意識や考え方などを変えるきっかけにもなったと感じています。

6. 反省点・今後の抱負（計画）・感想等

今年度は、本格的に交流を行った初年度ということもあり、すべてが試行錯誤でした。そのため、交流の詳しい日程などはその時々にお知らせを行う、というような状況になっていました。結果、大学・盲学校それぞれの各行事や試験日程などの都合も分からず、交流日程の確保に困難がありました。来年度も今回の交流をきっかけに様々な交流を続けていく予定です。今後は、大きな行事に関しては日程も事前に伝えおき、その他の交流に関してもあらかじめ計画を立て、準備をしっかりとした上で交流していきたいと思います。また、今年度は4年生を中心に行ってきたので、来年度への引き継ぎをしっかりと行いたいと思います。さらにより多くの学生に、盲学校のことや視覚障害をもつ方々の生活などを知ってもらえるよう参加学生を募るなど規模も大きくできればと思います。今年度以上により充実した交流にできるよう大学・盲学校で協力していければと思います。

本プロジェクトにおいて、多額の出費をしていただきありがとうございました。おかげで様々な交流を行うことができました。盲学校の先生方にも来年もまたお願いしたいと好意的にお話をしていただき、嬉しく思っています。今回の反省等も生かせるよう、励んでいきたいと思っています。本当にありがとうございました。

7. 実施メンバー

| | | |
|-----|---------------|---------------|
| 代表者 | 前田 絵美（教育学部4年） | |
| 構成員 | 長吉 美歩（教育学部4年） | 松永 聖也（教育学部4年） |
| | 廣岡 秀美（教育学部4年） | 星島 由香（教育学部4年） |
| | 赤木 佑衣（教育学部3年） | 朝倉由里乃（教育学部3年） |
| | 香川真奈美（教育学部3年） | 中野 典子（教育学部3年） |
| | 和氣 翔子（教育学部3年） | |